



ね

る

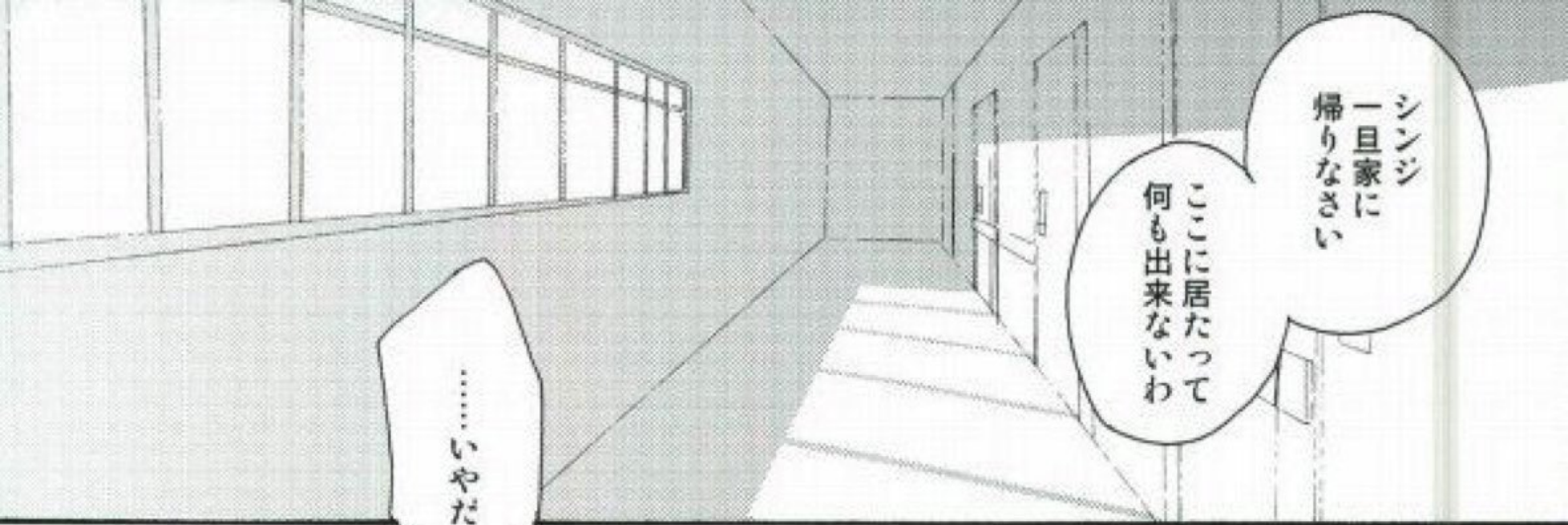
ふ

食

堂



禁18



シンジ
一旦家に
帰りなさい

ここに居たって
何も出来ないわ

……いやだ



渚くっ…



また

ぼくを

おいていくの？



今日は

今日こそは
僕っ

ちゃんと
勉強するん
だから！



なぜだろう…

さっき君が作った
美味しいカレーを
三皿もおかわり
してしまっただけ
というのに…！

そうだよ
渚くん全部
食べちゃって

カレーは一日
寝かせた方が
美味しいのに…



まっわ…
君よりも
かい？

カレーすにいいね？

しっ…

知らない



さあ君は
自分の部屋へ
帰った方が
がいい

ここに居る
僕が勉強の
邪魔をして
しまうから



…あ

の

ここで
勉強しても…

かっ

だめ。

ふあ…

ん…

んっ

う…

我慢
できないよ…

ダメ？

碇くん…

渚くん…

碇くん

だめ？







だめ…だめっ…!

ちよっ…



碓くん…?

どうして…

あ

ひゃ

ひゃ

あ…

ひゃ

こころと

ヒクヒク
してるよ?

ひゃ

あ

あ

あ

おかしいね…

あ

あ

ここは
性器では
ないのには…

あ

あ

気持ちいい
のかい?

あ

あ

あ

あ

なにこれ…
きもちいい…

あ

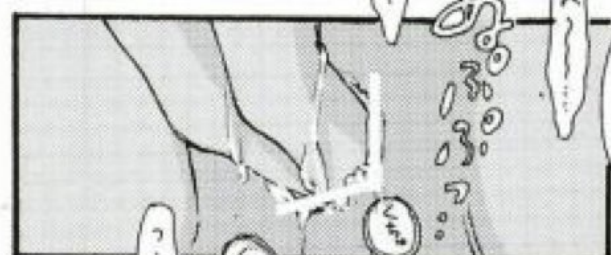
か
ち
ャ



ただいま…
シンちゃん

び
ん
ん
ん
ん

か



離してよ
渚くん!

ちよっと...

二人とも
もう寝ちゃ
ったの?

あら...

しょう?

碇くん...

んう!

大丈夫さ
ここは
下からは
見えないから

ふふっ
ありがとう
さん♡

渚くん
起きてる?

シンちゃんも
そっちは
居るかしら...

!!



渚くんの
わからずやー！
もう
しないから！！



ほか



えっ？

ん...



いかりくん？

+みぜ？

あれ？
イってしまった？

+みぜ？

どうして...？

もう...
...ない

？

渚くん

渚カヲルくん？

えー...

聞こえて
るかしら？

ずーん

次四番の
プラグで
チュートリアルよ！

ハッチリ
お手本
見せてあげ
ちようだい

ハイ

あれが
ゼーレの
秘蔵っ子？
反応鈍いわね

なんだか
噂と随分
違いますね
ま吉声？
遅い？

あの容姿で
ゼーレの血縁
でしょ？



ユーロじゃ
無双だった
のよ

うーん...



シンクロ率は
桁外れ人間
じゃないって
専らの噂



夏にこっちで
会った時
雰囲気変わったと
思ってたん
だけど...

教室にモニター
繋がります。



おっ！

我らが
渚センセイの
お出ましや！

あーもー
いいなあー

黒のフラグスーツ！
俺も着たいい



えーっ
実技担当の葛城くす

これよりフラグ内の
チユートリアルを
行います

なんや？
この世の終わり
みたいな
顔してるで？

朝飯
悪いもん
食ったんか



みなさん
モニターをよく
見て下さい

あれ…？



この光景

どこかで…

碓くん



え!?

僕が悪かった



許してほしい

君が嫌がる事は二度としないと誓うよ

が あ ああ… わ わわ

ただ昨夜は君があまりにも可愛い反応をするものだから僕も止まらなくなってしまう…





さ...

じい...
わあ...

碓くん...



渚くん!



わ...
制服だ...

本当に
ごめん!

昨日
生まれて
はじめて
おこら木た

昨夜すぐに
謝るべき
だったけど

動揺して
しまって...

ま...
ん...

か...
は...
う



かっこいいな...

もう怒っ
ないから
も...

あ...
ん...
ん...

は...
あ...

本当かい?



絶対
僕

君と
月へ
行きたいから



碇くん…



立派な
目標ね

ちよつち
スタートダッシ
が遅いけど



やめたのね



キャンディー

...



頑張ります!

ハイ!

S級は
難しいわよ
頑張っ
てね!



ああ...
ドイツに
居た時よく
口にしてたんだ

たくさん持って
来たんだけど...
どこにやったかな?
今まで忘れて
いたよ



キャンディー?

葛城さんとは
ユーロで
会ったの?



二年前にね

彼女は研修で
来ていたみたい
だけど



…あのさ

渚くんって…
ドイツで
どんな風に
暮らしてたの？

そうだね…
穏やかで
何もな
い日々
ただそこ
にだけ
居るだけ

僕には何も
なかった
何かをする
必要も
なかった
からね

覚えた事と言えば
EVAの操縦と

渚くんの
淹れてくれる
紅茶すごく
おいしいよ！

そうかい？

ありがとう
覚えた甲斐が
あったかな

紅茶の淹れ方
くらいさ

きっと
君のため
だったんだね

うん！

これからも
毎日楽しみに
してるから！

僕、

渚くんのこと

もっと知りた

そうしたら
僕 君のこと
もっと好きに
なるよ



うれしいよ
碓くん



碓くんが
頑張っている間
僕も何か
勉強しようかな

勉強？

どんな？



君と
ちゃんと
セックス
する方法だよ

君がS級に
合格したら
してもいい？



え？
ちゃんと…
って…



あっ…

かあ…



絶対に
気持ちよくして
みせるからね

約束だよ

碓くん!

えっ!?



合格したらって...

カリ

カリ

カリ

なんだか
これじゃあ



これじゃあさ……

ぎぶ

兼中
アホな
アホな……

渚くんの
バカっ!!!



あ……



もう……

渚くんと
○○○する為に
勉強してる
みたいじゃないか……

フン!



あのバカ
エンジン掛かんの
遅すぎんよ!

またまたあゝ

うれしい
くらいに
いゝ

はああ?

うれしか
ないわよ!



っていうか
ムカツク
のはね

私たちが
いくら言っても
聞く耳持たな
かったくせに

あのホモの一声で
試験受ける気に
なったって事よ！

たしかに

あー……
そちら

昔から

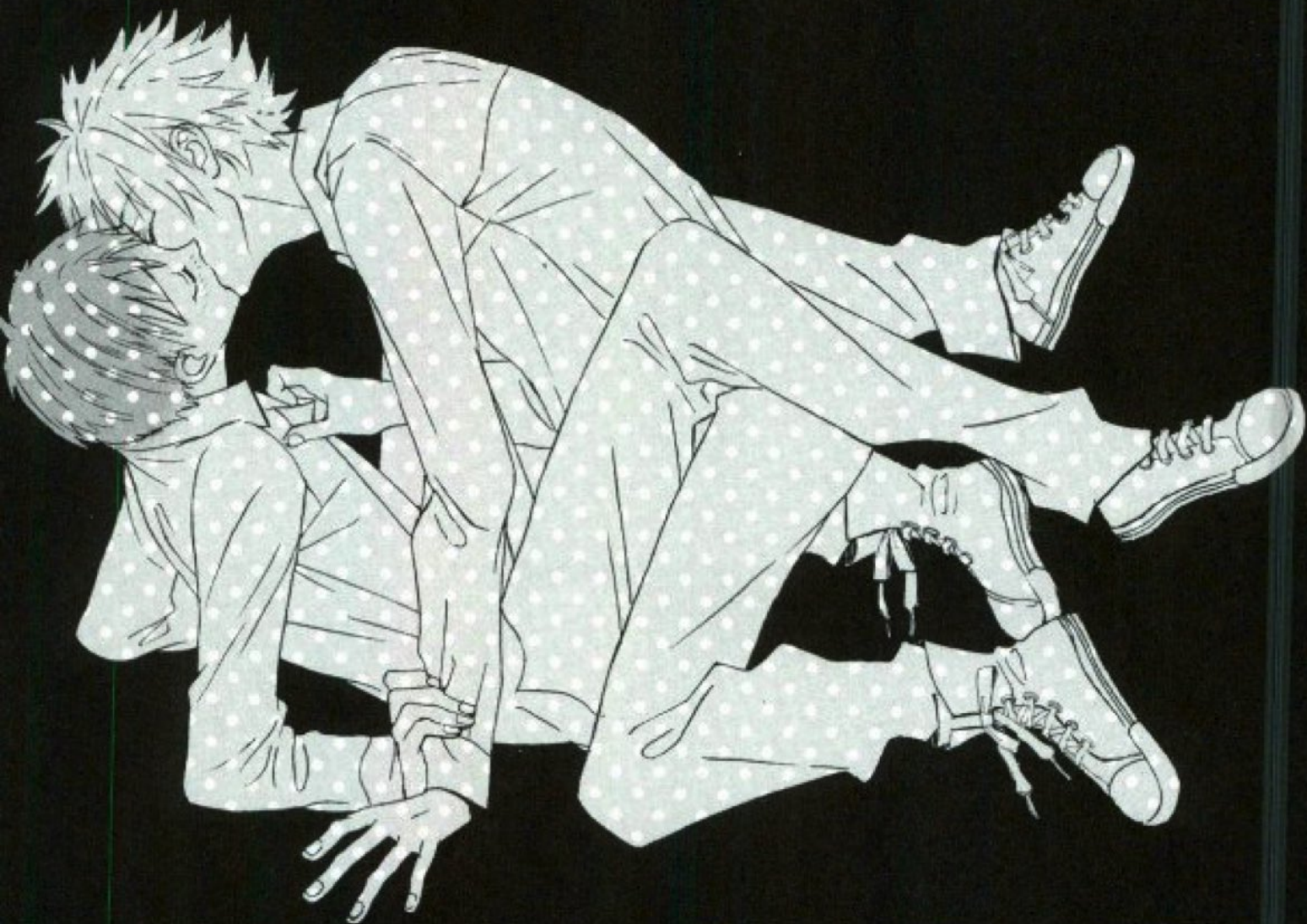
ただの
おこもり
イベント
じゃー……
ひい

怖いって
言ってたのよ

あー……

エヴァンゲリオンが

sex



sleep



契約の時は近い…



おじいさま？
どうしたんですか？

しーん…

電池切れ
ですか？

…

これはっ…

あっ！





おじいさま……

これより
最終試験を
行ないます

準備はいい？
碇シンジ君

シンク口率
正常

心拍
若干不安定

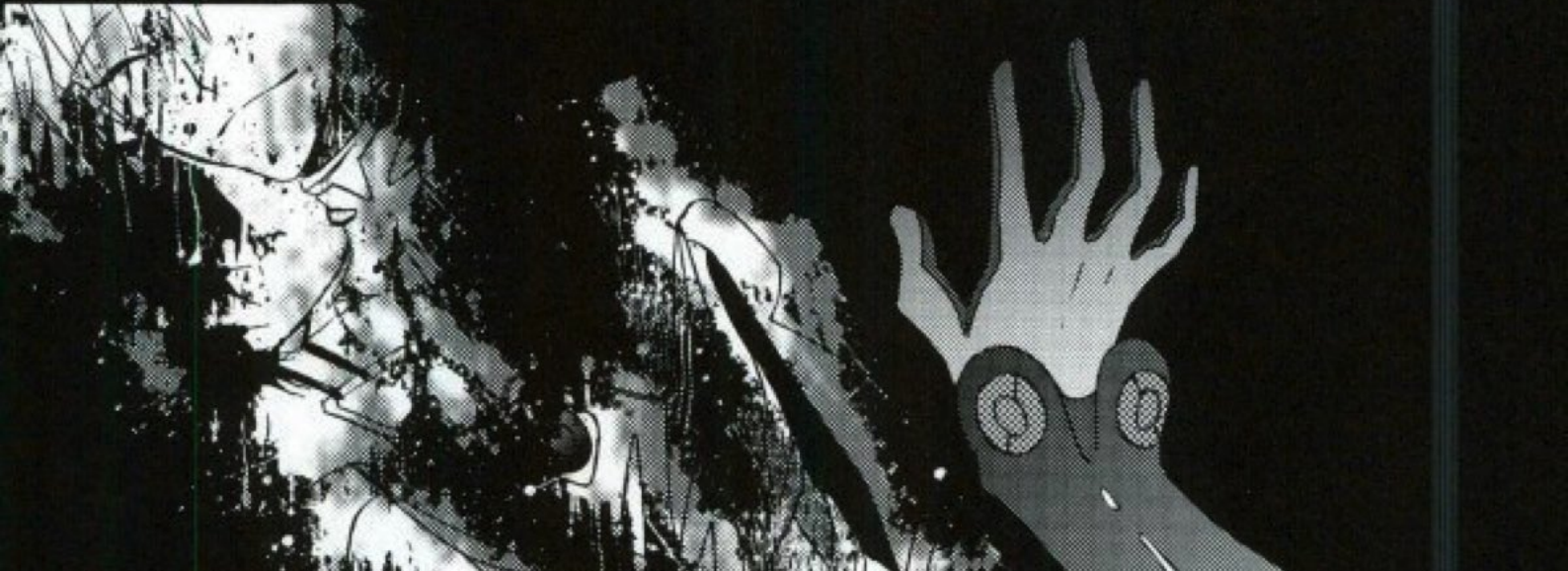
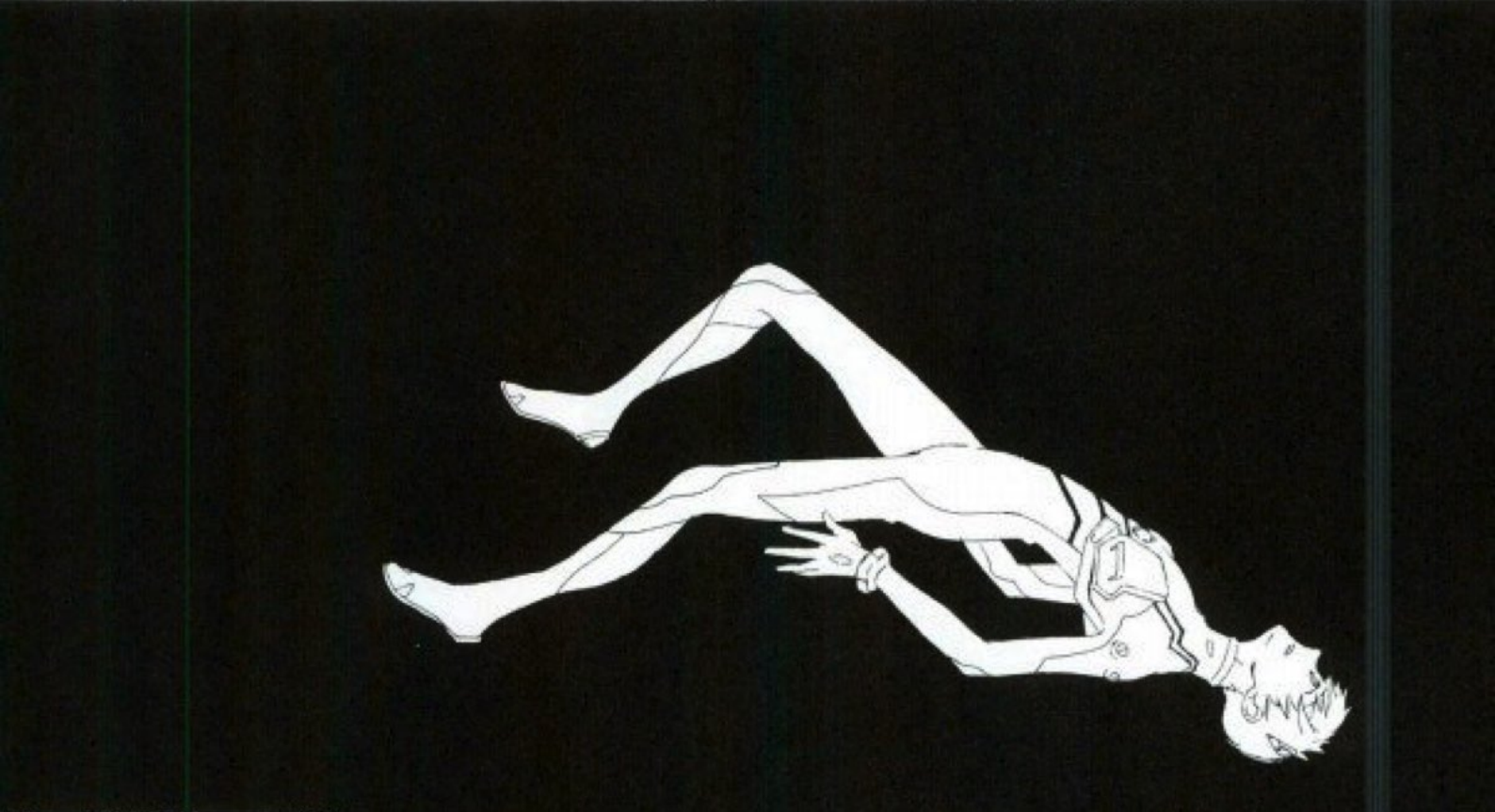
大丈夫？
碇君

大丈夫です

初めてだから

少し緊張
しているだけです

続けて下さい





怖いのは
EVAじゃ
なかったんだ



い
かないで
い
かないで



か
ち
や
ん

もう僕を

あっ

帰って
きたよ

おいてい
かないで



碇
くん
!?





生きてる…

え？



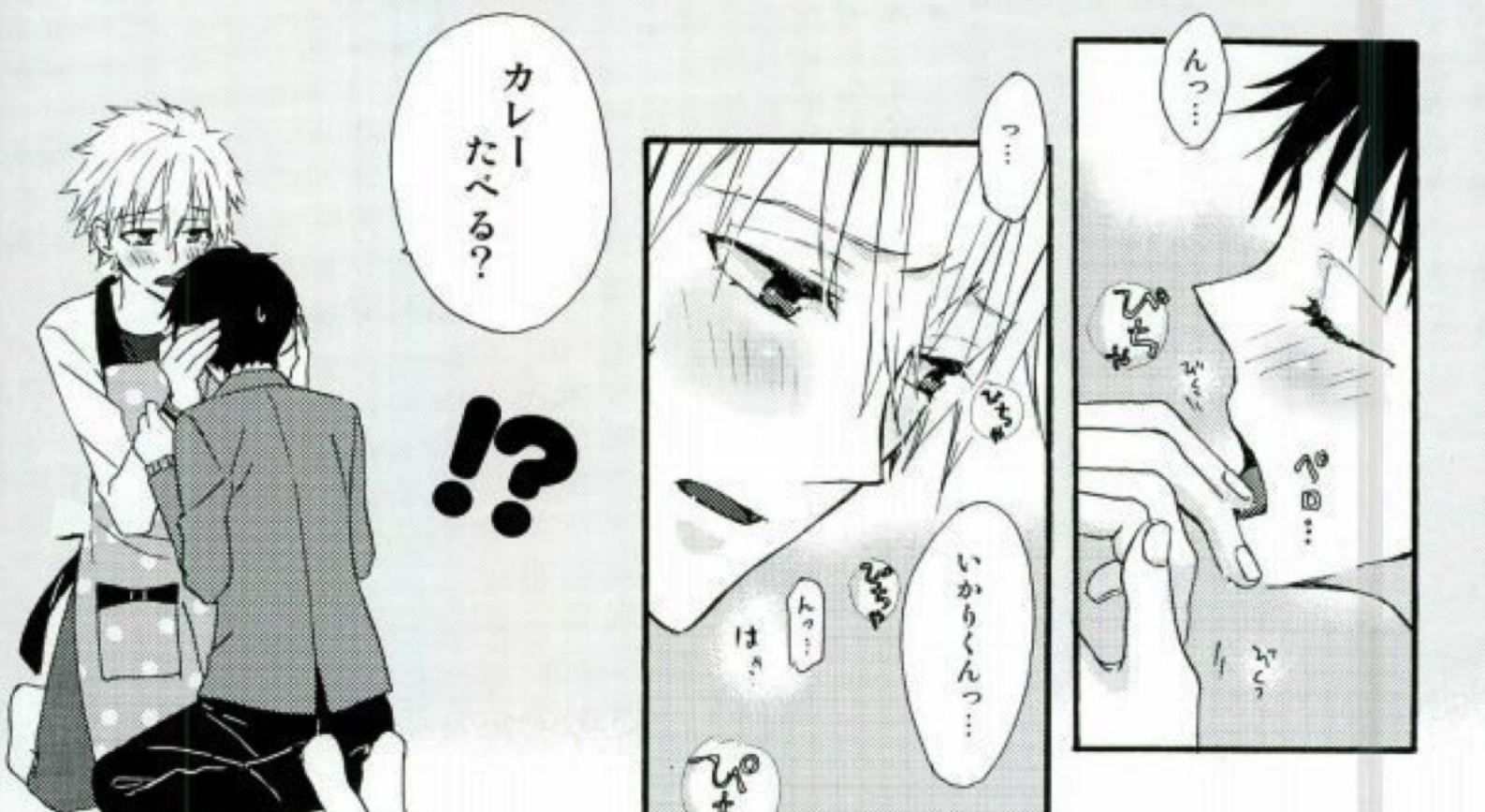
よかったあ…



碓くん？

ヒタヒタヒタヒタ







はあ？

カレ！？

それとも



今すぐ
ロフトへ
行くかい？



えっ!?



君が
選んで？



だって
こういう事には
「ムード」が大切
なんだろう？

だから色々
準備して
手順を踏む
つもりだったんだ



だって
君は今日
全部

僕のものに
なるんだから！



さあ

碇くん

どうしよう？

どうしたい？



そんなの

あ…

もう

とっくにだよ

あの…

その…

ロ



ロ

ロっ

…

ロフト…

に

行きたい…

それこそ

生まれる前から



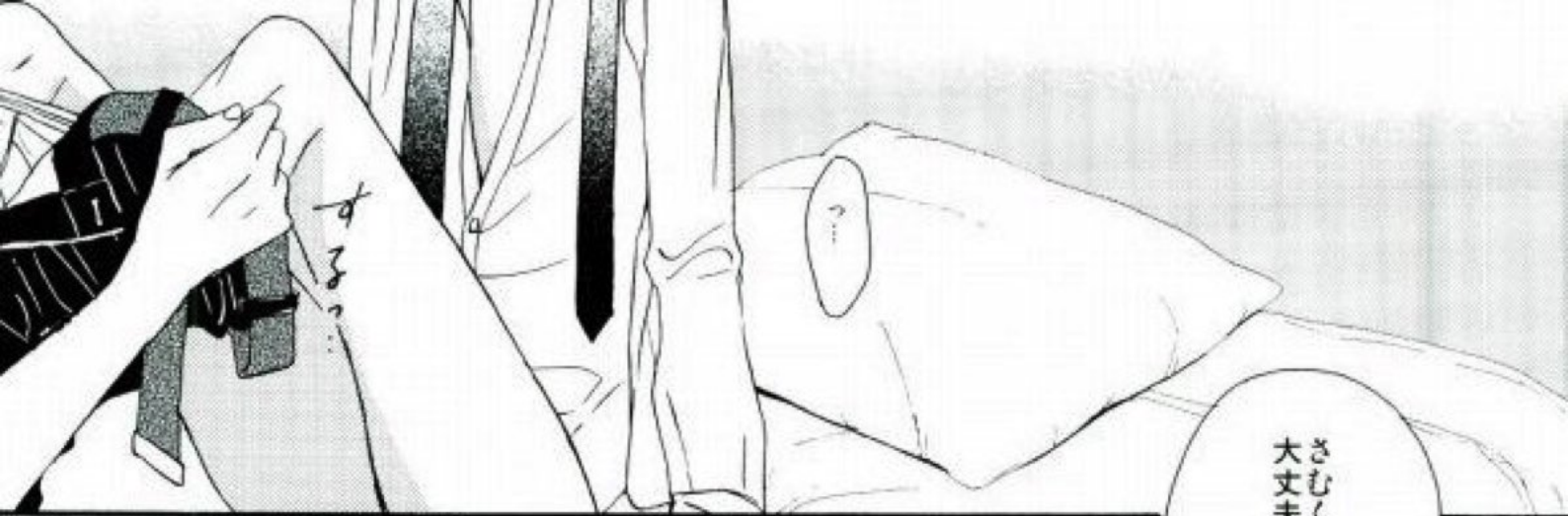
あ…



うれしいな…

僕も
そうしたいって
思ってたんだ

僕は
君の
ものなのに



大丈夫?
さむくない?



うん...



ふっ

碇くん
きこえちゃいますか?

渚くん...
どうしたの?

ん?

ないつもと
ちがうか...

うん...

ふっ

君が頑張ってる
間に僕も
勉強したのさ



君とふたりで
気持ちよく
なる方法



全部

舐めて
あげる





かごん...

かごん...

かごん...
かごん...

かごん

かごん

かごん

かごん

かごん

かごん

早くっ...う

だいじよぶ
だから...

また...ぼく

出さやうよおつ...

...

いかりくん...!



I'm not going to give up...
I'll keep going...

こっちはかい？

いかりくんっ...

気持ちいい？

ハハハ...

やっ

あーい

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

ズズ

ズズ

ズズズ

ズズ

ア...

あ

ズズ

ア...

ズズズ

ズズ

ズズ

ズズ

ズチ

ズチ

いかりくんっ...

ズズ

ズズ

ズズ

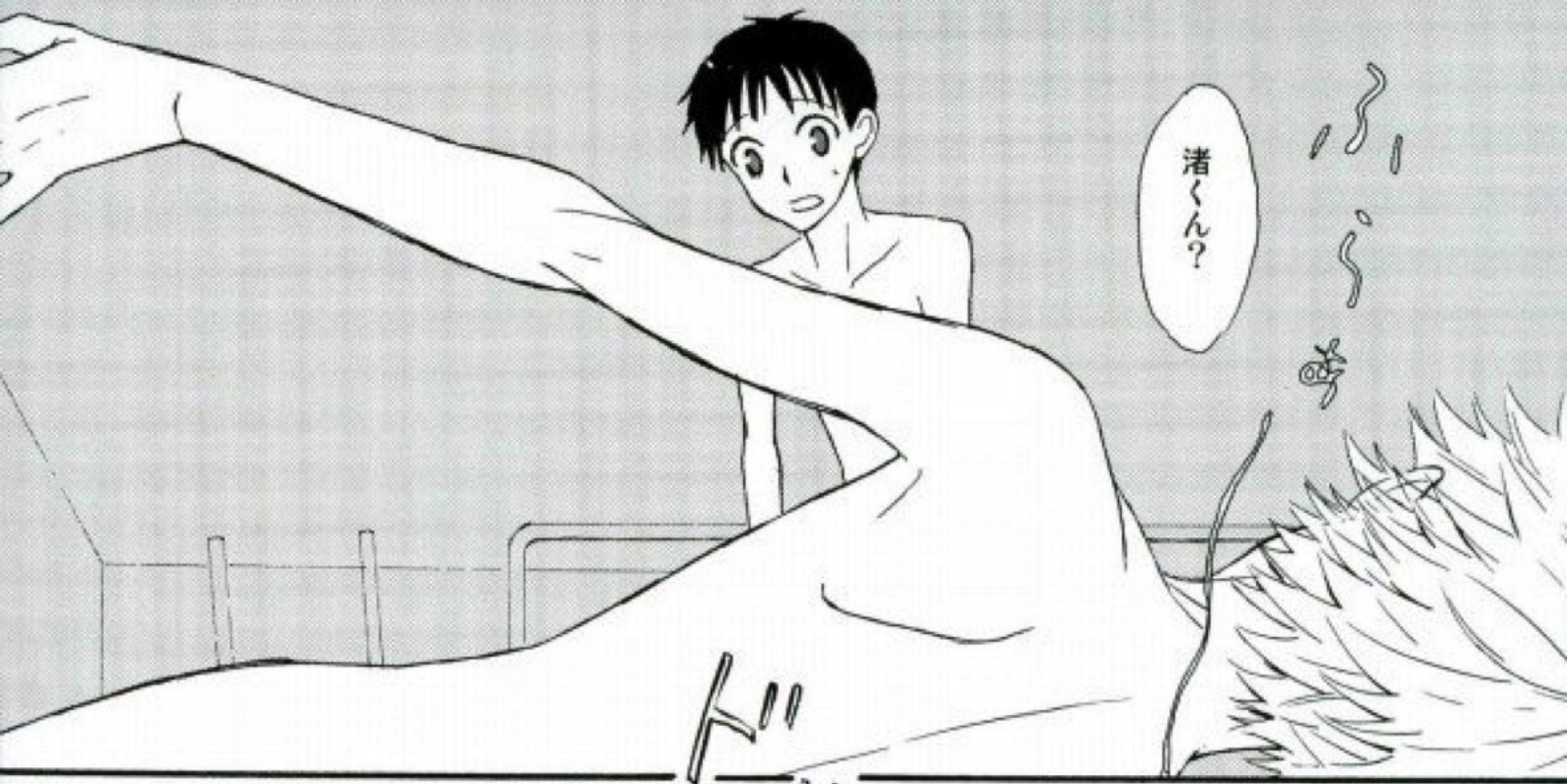


君は僕の
愛しい人だ

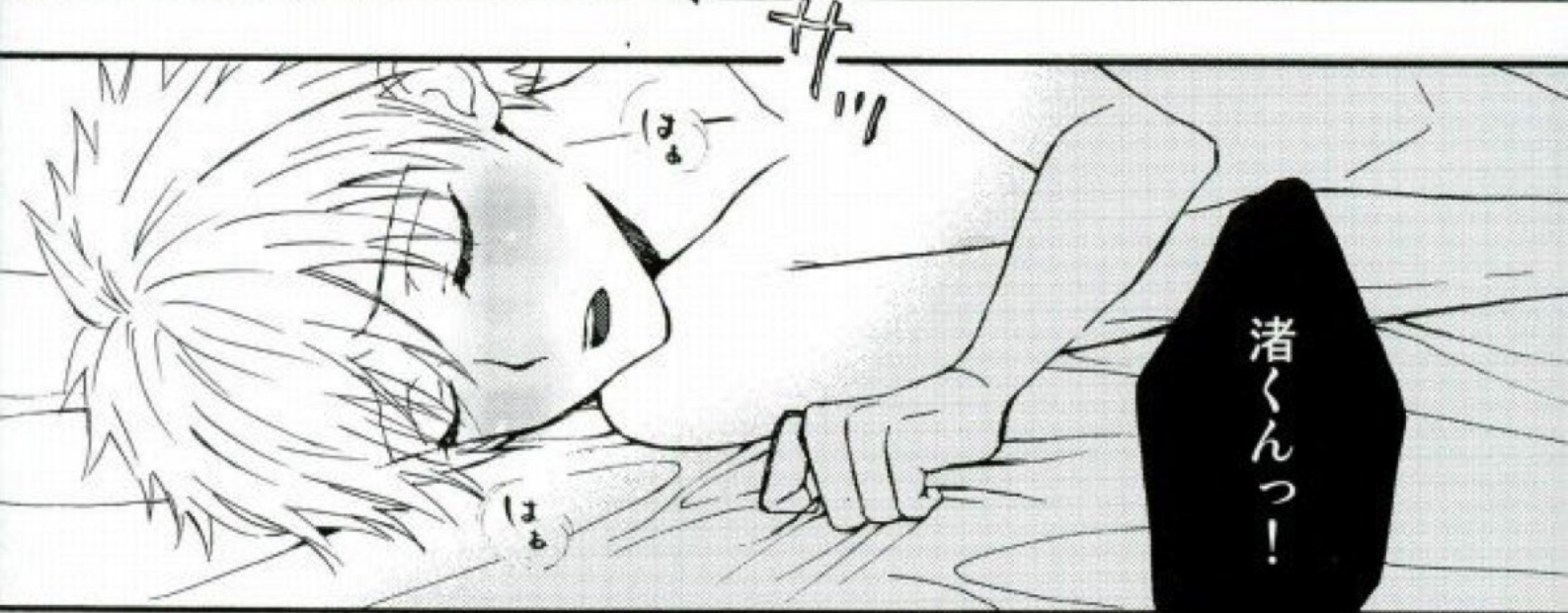
今までも
そして
これからも

愛してるよ
碇くん

「...や...」



渚くん?



渚くんっ!



やあ

僕を
待ってて
くれたのかい?





やっと
さわれた



渚くん…!!



僕…

もしかして
眠っていたのかい？

うん…

うんっ！



大丈夫？

苦しく
ない？

熱が
あるんだ



あのあと急に
意識が無くなって…
びっくりしてっ…

もう…
このまま
死んじゃうんじや
ないかって

僕…っ



やっぱり
君は
泣き虫だ



もう…
誰のせいだと
思ってるんだよ

ふふふ…
ごめんね

笑い事じゃ
ないよ…

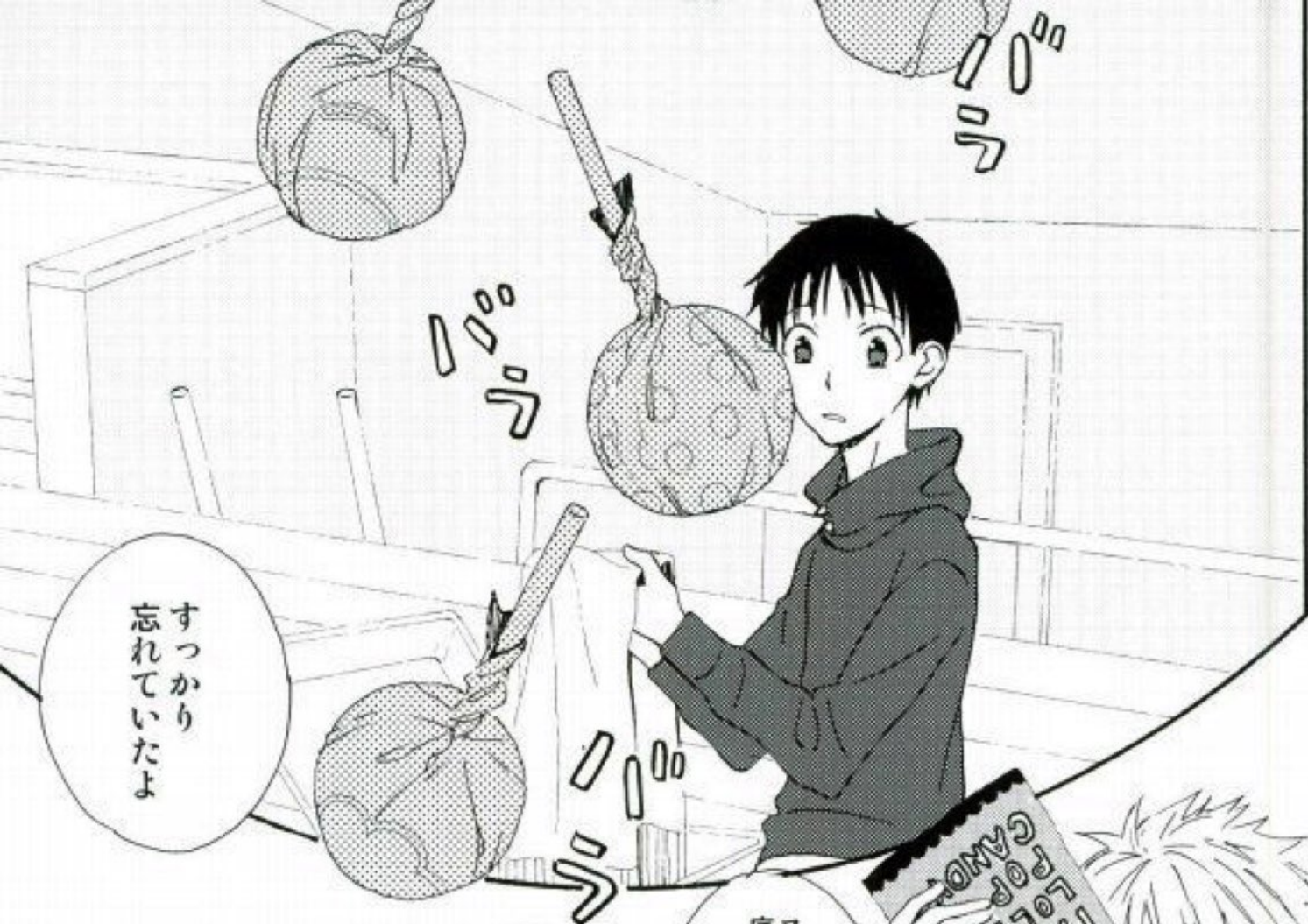


だって君は
泣き顔も
かわいいから

…なにそれ



もちろん
笑顔も
大好きだよ



すっかり
忘れていたよ

スイーツケースの
底から出てきた



わあ、
たくさん持って
来たんだね



食べるかい？

え？
いいの？



パチパチ
音がする！

なぜだか
この音が
気に入った

渚くん
僕のこと
聴いてよ

えっ？！

南極の氷の
音だよ

昔
海洋研究所で
聴かせて貰ったんだ

南極の…



はっ

渚くん？

さあ

早く荷物を
何とかしないと

また朝
起きられなく
なってしまうよ

僕は楽しみ
だな

明日から暫く
この部屋とも
お別れか…

さみしいな…

渚君の
ドイツの家



それはそうと
ユーロの訓練に
付いて行けるか
そっちの方が
問題だよ...

はぁ〜...
独語

独語
随分上手に
なったじゃ
ないか

それに
楽しみも
あるよ

城のバルコニー
で星を見よう

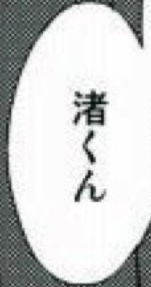
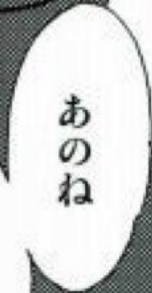
城?!

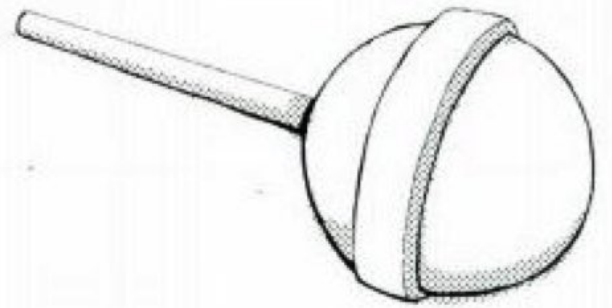
空気が澄んでいて
とても美しいんだ

サロンのピアノで
君の好きな曲を
弾いてあげられる

一番綺麗な
ティーセットで
紅茶を
淹れてあげる

おじいさまにも
紹介するよ





好きな人が

できました

「だめだよ！渚くん！今日こそは僕…
ちゃんと勉強するんだから！」

「なぜだろう…さっき君のカレーを
三四もおかわりしてしまったというのに…！」

「どうしておなががへるのかな？
恋とお受験、食欲と性欲の狭間で揺れ動く
運命を仕組まれた少年達…」

「だって君は…今日全部、僕のものになるんだから！」

食欲と性欲は等価なものかい？
渚くんと渚くんの
ホームステイラブコメディ完結です♡

KAWORU
♡
SHINJI

